

山城北保健所管内版栄養情報提供書 記入要領

項目	記入上の留意事項
①既往病名	該当する既往症があれば☑又はその他の欄に記入する。該当なければ空欄でよい。
②検査値	「Alb」・「Hb」はデータがあれば☑し、測定日と共に値を記入。「他」は栄養管理上重要と思われるデータが他にあれば記入。データを記入せず添付した場合は「データ添付あり」に☑を入れる。
③食種名	自施設で提供している食種名を記入（ただし分かりにくい場合は一般的な名称も併記する。例「糖1200A食」⇒「糖尿病+高血圧食」）
④提供栄養量	1日当たりの提供栄養量を記入。
⑤食事形態【主食】	該当する形態に☑を入れ、1食あたりの提供量を記入。
⑥食事形態【副食】	該当する形態に☑（嚥下調整食の場合は該当する学会分類コードにも☑）を入れる。食事にとろみを入れている状況に応じて「あり」「なし」いずれかに☑する。
⑦水分とろみ	該当欄に☑する（とろみありの場合は該当のとろみの濃さにも☑する）。
⑧補助食品	有無に☑し、ありの場合は付加区分と商品名、1日あたりの付加栄養量を記入。
⑨摂取量	直近1週間平均の摂取量について、提供量に対する摂取量の割合を記入。
⑩アレルギー	アレルギー症状の有無ではなく、実務レベルでアレルギー対応をしている場合は「あり」に☑を入れ、該当食品に☑（その他の場合は記入）する。（例えば、アレルギーの検査はしていないが、本人の申出により対応している場合なども含む）
⑪禁止食品等	薬剤との関連による禁止食品や嚥下困難によるのど詰り等の回避のための禁止食品、嗜好による禁止食品があれば記入する。
⑫嗜好	該当欄に☑する。「あり」の場合は具体的な食品名も記入する。
⑬自助具	該当欄に☑する。「あり」の場合は該当する自助具の種類すべてに☑する。
⑭摂取姿勢	該当する状況に☑する。当てはまる状況が複数ある場合は、すべて☑する。
⑮摂取方法	該当欄に☑する。
⑯経管栄養	該当する場合のみ記入。該当ない場合は空欄でよい。投与栄養量の水分量は加水量も含めた量を記入する。
⑰特記事項	引き継ぐ施設に必要と思われる情報（これまでの経過や個別対応などの詳細な情報など）を記入する。
⑱記載者	この書類を作成した担当者の施設名、連絡先、氏名を記入する。
その他使用に関する 特記事項	原則として提供可能な情報を記入することとします（ <b>記入の負担を少なくするため、不明の部分は空欄、または「不明」欄に☑して提供可能</b> ）。
	食事形態の写真を掲載する様式「写真ありVer.」と、掲載なしの様式「写真なしVer.」を作成しております。状況に合わせてご使用ください。
	「写真ありVer.」に掲載する写真は、各施設で提供する食事の写真を入れてください（様式には例として写真を入れております）。
	QRコードは、やまきた嚥下食マップのHP掲載ページへリンクしていますので、必要に応じてご活用ください。